令和６年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	岐阜県各務原市
事業細目名	スポーツ競技施設等の整備
事業名	岐阜県各務原市各務原市民球場１塁側防球ネット嵩上改修事業
助成金額	16,000,000 円

令和５年度地域スポーツ施設整備助成（スポーツ施設等整備事業）を受け、各務原市民球場１塁側防球ネット嵩上改修事業を行った岐阜県各務原市の調査を実施しました。

各務原市民球場はネーミングライツを導入し「プリニーの野球場」という名称でも親しまれています。市内に４か所ある野球場の一つで、最も多く利用されています。

市民大会や、全国高校野球の県予選といった大会利用もされています。

■助成の意義

これまでは、一塁側防球ネットの高さが 6.5mと低く、打球が球場外に飛出し、車両や歩行者に当たってしまう危険性が生じていました。そのため、スポーツ振興くじ助成金を活用して、安全にスポーツ活動が実施できる環境を整備するため、ネットの高さを 11.5mに改修しました。

ネットを高くしたことで、「ファールボールが球場外へ出ることが減り、安心してプレーすることができるようになった」との利用者から評価をいただいているそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

土日は予約が埋まっている反面、平日の利用が少ないため助成事業の PR 看板を、選手及び観客等の出入りが多い入場口に設置し、認知度と利用機会の向上に努めているそうです。

■その他

今後の課題として、施設の更なる充実のために、外壁塗装や屋上防水などの老朽化に伴う改修工事への対応が挙げられるそうです。

■所感

プリニーの野球場は今回整備した防球ネットをはじめとして野球場としての設備や機能がしっかりと整備されており、利用者にとって利便性の高い施設だと感じました。今後も市内のスポーツ活動の拠点として、地域スポーツの振興に大きく貢献していくことを期待します。

（令和６年９月５日往査）

（写真）プリニーの野球場の様子（※写真：岐阜県各務原市）



